

(参考様式4-1)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
原泉地区活性化計画 改善計画書

平成29年7月28日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
静岡県	静岡県 掛川市	原泉地区	平成20～22年度	平成20年度
事業メニュー名		事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物 処理加工施設		荒茶加工施設の整備 120K-2.5ライン(蒸機2台・粗揉機2台・ 中揉機1台・荒茶総合調整機一式)		農事組合法人 原泉茶業組合

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A (kg)	実績値B (kg)	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売量の増加 (荒茶)	4.58%	△32.50%	△709.60%	平成26～28年度 販売量の合計

(△34.33%) (△749.56%) (平成23～25年度)

2 目標が達成されなかった要因

<p>長期的に続く茶価の低迷の傾向が大きな要因の一つとなっている。また、お茶の生産・販売を取り巻く環境にも変化が出ており、品質を重視するために、みる芽(若く柔らかい芽)摘採を実施していることが、単位面積当たりの生葉収量の減少を招く要因にもなっている。</p> <p>さらに、全県的な傾向ではあるが、お茶生産に取り組む会員の高齢化が一層進み、お茶生産から撤退する会員も出ている中で、後継者においても兼業の形が増加し、片手間での茶業継続となっており、会員の協力体制の継続維持にも不安要因が加わってきている。</p> <p>しかし、当農村地域の維持発展を望む気持は強く、併せて、原泉茶というブランドを守り続けていくと言う決意もあることから、組合員が結束し、時間は要するものの、販売量を伸ばして目標の達成を可能にすることが出来ると思われる。</p>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成31年度
事業の推進体制	事業実施主体(農事法人組合 原泉茶業組合)を中心とし、県・市・掛川市農協による支援
具体的取組政策	<ul style="list-style-type: none">天候による収量変化に対応するため、茶園管理技術の向上に努める。荒茶生産量の確保と適期摘採による品質の向上に努める。耕作放棄の恐れのある茶園を的確に把握し、原泉茶業組合として計画的な茶園管理を図るとともに、茶園管理面積の拡大にも努める。引き続き地区外からの買葉を継続することにより数量増加を図る。

- | | |
|--|-----------------------------------|
| | ・ お茶の有機栽培を導入することにより、品質向上と数量増加を図る。 |
|--|-----------------------------------|

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

茶園管理技術の更なる向上や適期摘採などの適切な茶園管理の実践による品質の向上、新たな担い手の育成などの組織対策、茶工場の効率的な稼働と組合としての計画的な茶園管理、有機栽培の実践などによる生葉生産の確保などを通して、今後も継続的に荒茶販売量の増加を図られたい。

(掛川市農業委員会)